

2025年 税理士試験受験対策

直前対策模擬試験

国税徴収法

回数	理論範囲	計算範囲
第1回	問1-2 国税と被担保債権の優先関係 問1-5 譲渡担保権者の物的納税責任 問3-11 財産の換価の通則 問3-12 公売及び随意契約による売却 問3-13 売却決定及び代金納付 問3-14 換価の効果 問3-15 債権額の確認及び配当手続 問4-6 職権による換価の猶予(要件等) 問4-7 申請による換価の猶予(要件等) 問4-8 申請による換価の猶予の申請手続等 問4-9 換価の猶予(効果及び取消し又は猶予期間の短縮)	質権の証明、根抵当権の優先限度額等を論点とした配当計算
第2回	問1-4 担保のための仮登記と国税の関係 問2-1 第二次納税義務(通則) 問2-2 第二次納税義務(人的限度・金銭限度) 問2-3 第二次納税義務(物的限度) 問3-3 差押えの共通的手続 問3-7 債権の差押え 問3-16 交付要求 問3-17 参加差押え 問3-18 滞納処分のための財産の調査 問4-10 滞納処分の停止 問5-4 繰上請求 問6-1 納付委託 問6-2 不服申立て 問6-4 国税の担保	譲渡担保等を論点とした配当計算 給与等の差押禁止額

※ 全国統一公開模擬試験及び直前予想模擬試験については、出題範囲の開示はございません。